

はーもにい No.17

富士小校区だより
「はーもにい」

2022年11月

発行：富士小校区まちづくり
推進協議会
編集：広報部

10/30 秋
の芋ほり
体験



おおッ！お芋がザクザク

当日は児童参加者69名、保護者30名、スタッフは山本さんを含め12名の総勢111名でした。

富士小校区まち協の3地区連携事業として収穫祭を開催しました。今年も池尻元区長の山本さんのご尽力で、5月22日に苗植えを行ったさつま芋も大きく育ち、収穫を富士小校区の子供たちと行いました。参加者の他、富士小の岡田校長、三田市の西垣課長、三輪の白井議員、弥生まち協の福井相談役なども見学にいらっしました。



畑を提供して頂いた山本さん

山本さんには毎年畑を提供して頂いています。今年は、春に子供たちの参加で「苗植え」もやっていただきました。山本さんには、植えた苗がちゃんと埋まっていなかった時には「掘り起こして埋めなおす」など手をかけて頂いたとのことで、参加者からは最大級の感謝です。参加人数も当初は50名としていましたが、上限を超えた応募全てを受け入れてくださいました。子供たちからは、「こんなに大きなお芋、見たことない」、「ザクザク出てくるので驚いた」、「皆でやったので楽しかった」など絶賛、また絶賛！

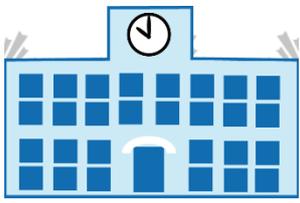




当日は天候にも恵まれ、参加申し込みされた全員が畑に入りました。畑は流石に広いのですが、密になるといけないので、参加者111名は2班に分かれての「芋ほり」。

写真上は1班、下は2班の集合写真です。
(Photo Credit:TD)





富士小校区の団体活動だより：
富士が丘連合自治会
& コミセン委員会



ふれあいコンサート
「秋祭り」代替イベント



コロナに備えて、秋祭りはコンサートに変身！

新型コロナウイルス感染予防のため、恒例の秋祭りは中止となりましたが、祭りに代えて「富士が丘ふれあいコンサート、子供神輿撮影会」を行いました。コンサート出演グループは：

- ・オカリナサークル(ゆ〜みー)
- ・ハーモニカサークル(コスモス)
- ・富士中学校吹奏楽部

会場には沢山の見学者と来賓には、富士が丘に住んでいらっしゃる森哲男三田市長の姿も。

パイロットになって大空を飛んだよ

こうみん未来塾「弥富実行委員会」だより



9月11日に「子育て世代の為の飛行教室」が開かれました。

何をやるの？元パイロットの井原さん(富士が丘在住)が手づくりの cockpit (航空シミュレーター) で飛行機の操縦を指導していただきました。会場の弥生コミセンには、富士中校区から10組の親子が参加し、飛行機のシミュレーションを体験。

子どもたちは初めての体験にドキドキ・ワクワク♡「本当に飛んでいるように感じた」、「着陸の時はきんちょうした」などの声が上がっていました。



「富士小校区まち協」全体会議

令和4年度（2022年）第2回全体会議が、11月17日にフラワータウン市民センター2階 視聴覚室で開催されました。今回は構成団体の各代表の方々の参加で3つの班に分けてのグループ・セッションも行いました。参加者からは、初めての試みに「有意義でした」とのコメントがありました。

フラワータウン市民センターでの全体会議



グループ討議を行いました。

今回「構成団体代表の人材の枯渇・高齢化に伴う役員の在り方」と言うテーマを設けて3つのグループに分かれて意見交換。自治会などの役員は、毎年交代し、課題は高齢化と現役世代も時間的余裕がない。高齢を理由に自治会の脱退や役員の辞退の希望が多いことなどです。

グループ討議で感じたことは、役員の更なる負担軽減と回覧等デジタル化の必要性でした。

全体会議での主な発言

出合会長からは、まち協としては「芋の苗植」と「芋ほり体験」が大きなイベントとなった。コロナで中止になり、残念だったのは「こども未来塾」のロボット教室でした。フラワータウン40周年・人博30周年で「わいがやバンド」も出演しました。皆さんに重ねてお願いしたいのは「富士が丘ポータルサイト」や広報誌「はーもにい」の活用です。

ささえあいふじの前田代表からの報告では①富士中の介助の「トライやるウィーク」でボランティア募集したところ、富士と弥生から手を挙げて頂いた。②落雷対策をポータルサイトに対策を載せたこと、③ボランティア活動で、体験談などをポータルサイトに残して置けば、次の人に簡単に引き続きできる。例えば「夏場の草取りで熱中症を防止する工夫」を載せました。

自治会長の喜多川会長からは、今回の話し合いで、人財発掘のために、声をかけていくことが大切との指摘がありました。自治会の役職は負担だとの声もありますが、イベントで自治会やまち協を盛り上げていくことも大切だと思います。負担を減らすためにも一部外部委託も検討する必要があると思います。

秋の防災訓練：防災部会

11月13日（日）各地区の班長さんが地域内を巡回アナウンスした後、無事カードの確認による安否確認を行いました。この時、非掲出世帯には、インターフォンによる声掛けを実施しました。

無事カードの掲出率は、全体で78%（去年は73%、一去年は67%）であり、毎年向上しており住民に徹底しつつあることがうかがえます。背景には、昨年からのゴミステーションへの「訓練告知」カードの貼りだしの効果もあったものと思われます。

今後の課題として、班長の不在や体調不良等で安否確認が出来ない場合のバックアップ体制や、夜間の安否確認の実施方法などが挙げられます。（富士が丘防災部会）



毎年、「無事カード」の掲出率が上昇！



編集後記

この号では、芋ほりや秋祭り代替イベントへの取材など楽しい雰囲気を味わいました。

「はーもにい」は富士小校区の住民とまち協構成団体のための広報誌ですから、行事や街のトピックスがありましたら、ぜひ「写真を添えて」まち協事務局気付け広報部まで、お寄せください。（HS）

富士小校区まちづくり推進協議会事務局

〒669-1547三田市富士が丘2-18 コミセン内

電話：079-550-1016

富士が丘ポータルサイト：<http://sanda-fujigaoka.com/>

「はーもにい」編集責任者：まち協広報部長

メール：fujimachikyo20140511@hera.eonet.ne.jp